



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長  
弁護士・移民コンサルタント  
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援  
けよう」と豪援隊発足。16歳  
で単身オーストラリアに留  
学。その後、ボンド大学を卒  
業し、QLD州弁護士資格取  
得。長年に渡り、日本人なら  
びに日系企業、世界各国の  
クライアントのコンサルタント  
業務に従事。



## インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の名言
- 今月の視点
- 今月のジョーク 2
- 2016年を振り返る
- Facebook
- たまに行くなら・・・



<http://zoesangels.org/>  
Go オーストラリアグルー  
プは、Zoe's Angels  
「Zoeの天使たち」を  
支援しています。

Go Australia  
Visa Consultant

Go Australia Concierge  
Shimizu Kokusai Law  
Office

Conveyancing Home  
QLD

Injury & Accident  
Lawyers



オーストラリアのエッセンスが3分でわかる

# 豪援隊かわら版 特別号



## 今月のジョーク 其の巻 (ジョーク集より)

ねえママ、天使ってお空を飛べるの？

娘 「ねえママ、天使ってお空を飛べるの？」

母 「ええ、そうよ」

娘 「じゃあメイドのマリーも飛べるの？」

母 「どういこと？」

娘 「この前お父さんがマリーと裸でくっついて君は天使だ  
よって言ったの」

母 「そう、なら今度マリーが飛ぶところを見せてあげるわ」

## 今月の名言

**Happiness depends  
upon ourselves.**

幸せかどうかは、自分次第である。

**Aristotle (アリストテレス)**

紀元前 384-322

古代ギリシャの哲学者

## 上半期の視点 「オーストラリアなんですけど。。。」

筆者が、この国にお世話になりはじめて、すでに30年近くが経とうとしております。その間に、この国もそのかたちを様々に変えてきましたが、昨今のオーストラリアを見ておると、やはりそこに落ち着いたかと思わざる負えません。

### 1. ネオ白豪主義

このかわら版でも何度か訴えてきましたが、このオーストラリアの国の成り立ちと歴史の中では、やはり白人がその他の人種を追いやることで作り出してきた歴史であることは否めません。オーストラリアを建国した時点では、イギリス人が原住民のアボリジニ族を追い出し、もっと最近では残っている原住民は白人社会と一緒にすることが幸せなはずだとエゴ丸出しの白豪主義という人種差別を前面に押し出した政策を主張し、その後そうした人種差別的な政策が国際的に認められないと感じると、アツという間にオーストラリアは多民族国家であると国の方向性を変えてきました。

現在、多民族国家として、いろいろな国からの移民を受け入れてきたオーストラリアにとって、寛大に受け入れてきたことに対する対価を払うことになってきているわけですが、その対価がいろいろな意味で受け入れがたいものになっているようです。そこで、起こり始めたのが「ネオ白豪主義」。まさにオーストラリアは白人主導社会であるべきだという動きです。

オーストラリアより一足先に、ナショナリズムという名のもとに、アメリカもトランプ大統領のもと、国を本来の姿(?)に戻そうと動き始めました。オーストラリアもそれに乗るようにナショナリズムキャンペーンを始めました。まずは、英語が喋れない人間を排除、そして年寄り(45歳以上、えっ!)を排除、お金を持ち込めない外国人は排除、オーストラリアの文化を受け入れない人間は排除、永住権を取得してもオーストラリアに住まない人間も排除、こうしていくと最終的に残るのは。。。よくよく考えてみると、ある特定の国からの移住者をこれ以上受け入れないための策であることがおのずと浮かび上がってきます。人種差別の国と呼ばれないように気を遣って、その点はナショナリズムという名のもとに白人復活主義というところでしょうか。こうしたやり方に対して、「ネオ白豪主義」がやってきたといわれても仕方がないかもしれません。

### 2. 歴史的な予算案

筆者が大好きなABCテレビのジャーナリストのセール女史が、予算案を自慢気に発表したモリソン財相に一言。

セール女史: 「あなたの内閣が自由国民連立党として初の労働党予算を発表しましたね。」

モリソン財相: 「。。。」

こう言われても仕方のないくらい、今回の予算案は「一般大衆向け」予算であった。今までの連立党であれば、国全体の景気を浮揚させるために、玄人的な企業が成長できるような経済政策、税制政策を取るのだが、今回は事情が異なるようだ。アボット前首相に引導を渡して、鳴り物入りで首相となった Turnbull 首相であるが、思うように支持率が上がらない。それに対する労働党も、今一つパツとしないのだが、そこはすでに緑の党や、ポーリン・ハンソン女史の率い

る One Party が第三勢力となるべく、徐々に力をつけ始めている。すでに政局は 2 大政党から多極化しているために、玄人相手の政治だけをしていただけでは政権を維持できないという、現政権にとっては不安定な状況が続いている。そこで、万人受けする予算案が必要であったわけだが、そのために今まで自由国民連立党を支持していた人たちは、少しずつ現政権から離れ始めている。今回の予算案が吉と出るか凶と出るかは、現政権の今後の頑張り如何となることでしょう。

### 3. 銀行税

来年度の予算案の目玉は銀行税です。

政府：「銀行は儲け過ぎだから、特別に税金を取っちゃうもんね。」

銀行：「お上に払えと言われれば払うけど、その負担は全部お客に行っちゃうからね。そうしたら、国民はお前たちに腹を立てるけど、それでいいのかい？ 次の選挙負けちゃうよ。」

政府：「。。。」

ここでも、政府は敵つくる。。。。

### 4. 政府の誤算

457 ビザの改正、市民権取得の厳格化、そして難民指定者に対する再審査等、最近特にダットン移民相を見かけることが多い。この間もブリスベンの街を人目を避けるように歩くダットン移民相を見かけたが、こうした厳格な改正を決断した英雄というよりも、悪いことをしてそれがばれないように他人と目を合わせず背けているという感じがしてならない。ハンセン議員の One Nation 党、そして労働党のいずれも外国人労働者を節操なく認める現政府のやり方をオーストラリア国民を重視していない政策であると非難し続けていた。その口封じとして、今回現政権が行った 457 ビザの廃止は来年の選挙に向けての選挙制の争点の一つを取り除いたこととなる。選挙戦が戦いやすくなったと現政権は思っているのかもしれないが、その反面国民からしてみると 2 大政党の違いがなくなってきていることに気づかされる結果となった。そのため、こんな誤算がささやかれるように。。。。

- ・今まで自由国民連立党の支持をしていた人たちが、他の政党の支持にまわり始めた。
- ・もともと、オーストラリア人労働者の生産性の低さから外国人労働者を雇用することが多かった産業に関しては、オーストラリアからその拠点をよその国に移す、または 457 労働者に依存していた仕事については海外へのアウトソース化。
- ・永住権につながらない留学は魅力半減以下。ということで、カナダや NZ といった国に留学生が流れていく。
- ・外国人を雇用する雇用主に対する特別税から徴収を見込んでいる税収も、外国人労働者の減少で見込み以下に。(そういえば、資源税という大誤算がありましたっけ。)
- ・本来海外から高いスキルを有する人材をもっと必要とする医療、IT、テクノロジー業界も、今回の 457 廃止で思うように人材を集められなくなりそう。(すでに、改正後、帰国を決めている研究者やオーストラリア企業の CEO として働いている優秀な人材も何人もいるということ。)

これらが、誤算ではなく計算されたうえでのリスクであれば、問題ないのですが。。。。

### 457 ビザ廃止発表の余波

4 月 18 日の政府による突然の 457 ビザ廃止発表は、一般の方のみならず、少なからずともビザ・移民法の専門家であることをうたう専門家にとっても寝耳に水であった。実際には、いくつかの 457 ビザ申請の審査状況が最近特におかしかったのも、何があってもおかしくないのではという考えも少なからずあった。この廃止の余波が出るのは廃止になる来年 3 月以降であるが、既にその影響は始めている。

【年齢制限引き下げ】 今までの 50 歳未満から 45 歳未満への引き下げは、おそらく一番多くの人を苦しめたのではないだろうか。IELTS のスコアアップや、実務経験の年数を増やすことは本人のがんばり次第で可能であるが、年齢だけは若返れと言われても、それだけは無理な話である。このために、永住権を求めてオーストラリアに留学したり、働きにきていた人たちが、志半ばで帰国を余儀なくされてしまった。

【職種リストの見直し】 職種リストの見直しにより、ビザ申請が不可能となってしまった職種もいくつか生じてしまった。中には、職種リストに残らなかった職種で申請をしていたけれど、審査が完了しなかった申請は、そのまま申請が差し戻しとなり、そこで永住権のための希望が絶たれてしまった。申請をしていたのに、自分が指定した職種が職種リストからなくなってしまう際のショックは大きなものがある。

【オーストラリア移民法】 「オーストラリア移民法は、ちよくちよく変わりますので、申請できるときにすることをお勧めします。」当方がクライアントにいつもお伝えしてきた言葉であるが、今回の件で当方がお伝えしたことが、皮肉にも本当であることが証明されてしまった。今後、移民法がどのように変わるかわからないが、こういった変更がある国に対して、果たして移住者は魅力を感じるであろうか？

【オーストラリア留学】 今回の改正の結果、今まで着実に数を増やし続けてきた留学生の数も減少してしまうのではないだろうか？ 今年の 3 月までのオーストラリア留学者数約 48 万人で、前年比 15% 増ということだ。そして、そのうちの 3 割が中国人留学生というのが、今回の 457 ビザ改正、そしてその前から始まった学生ビザの引き締めである。海外留学生が持ち込むお金は欲しいが、その生徒たちがオーストラリアに残るのは好まない。ということで、とりあえず、お金だけ巻き上げて、何とか体よく本国に帰してしまおうという今回の廃止。ネオナショナリズムを突き進もうとしているオーストラリアからしたら、当然のやり方ではないだろうか。

【今後のオーストラリア】 留学生やそれを取り巻く業者もバカではない。それを考えると、今後オーストラリアへの留学は減少の一途をたどるのではないだろうか。すでに、何社かの留学者の方からは、オーストラリアへの留学の減少を気にする声が聞こえて来る。そうすると、オーストラリアの自慢の輸出産業であった教育産業は冬の時代を迎え、永住権が取得できないのに、数年働いても仕方ないと若い働き手は違う国を探すであろう。それが狙いであるのか誤算であるのかは、今後のオーストラリアを取り巻く世界状況によるといえるのではないかと。

## 新着情報

会社スポンサーによる永住権といえ、186(ENS)ビザと187(RSMS)ビザですが、先に発表された457就労ビザ廃止に伴い、186ならびに187ビザも来年3月まで段階的に再構成されることとなります。

### 【対象ビザ】

- ◆ Employer Nomination Scheme (subclass 186) visa (ENS)
- ◆ Regional Sponsored Migration Scheme (subclass 187) visa (RSMS)

### 4月19日からの変更点

- SOLとCSOL職種リストにあった651種の職を435に削減。うち24種は特定地域での農業関連の職種
- CSOLはSTSOL (Short-term Skilled Occupation List)に改名し、6ヶ月毎に更新
- SOLはMLTSSL (Medium and Long-term Strategic Skills List)に改名し国家計画に基づき国益に繋がる技術職を今後指定

### 7月1日からの変更点

- STSOLを雇用省の助言を基にした更なる見直し、MLTSSLについては教育訓練省によるSOL(2017-2018)報告書を基に見直し
- 英語証明:IELTS 6(各項目)以上
- 年齢制限(直接申請の場合):ビザ申請時に45歳以下であること
- 年齢制限(就労ビザを経て申請の場合):ビザ申請時に50歳以下であること

### 12月31日までに行われる変更

- 就労ビザ保持者(会社スポンサーによって永住権を取得した永住者を含む)のタックス・ファイル・ナンバーの提出要請を開始するとともに税務局の記録と照合手続きを開始

### 2018年3月より

- 職種リストMLTSSL (Medium and Long-term Strategic Skills List)にある職種での申請
- 最低給与(現在\$53900)
- 就労ビザ取得後3年を以ってビザ申請が可能(就労ビザを経て申請の場合)
- 指定する職種に関連のある職歴が3年以上あること
- 年齢制限:ビザ申請時に45歳以下であること
- スポンサー会社による外国人雇用税の支払い;  
(1) 年間売上1千万ドル以下の場合  
    » TSSビザ:ビザ申請者一人に対し\$1200(年間)  
    » 永住ビザ:ビザ申請者一人に対し\$3000  
(2) 年間売上1千万ドル以上の場合  
    » TSSビザ:ビザ申請者一人に対し\$1800(年間)  
    » 永住ビザ:ビザ申請者一人に対し\$5000



## 今月のジョーク 其の貳

(ジョーク集より)

### 恋

- A 「なあ。きみは患者に恋したことはあるか」  
B 「ああ。医者だって恋はする。たまたま相手が患者だったということだけさ」  
A 「…そうか。そうだよな。患者に恋したっていいんだよな」  
B 「なんだよ、もしかしてお前」  
A 「うん…。立場上、許されない恋かと悩んだこともあったけど、お前の話を聞いて安心した。患者に恋するのはいけないことじゃない。恋はすばらしい。恋の炎は誰に消せやしない」

B 「でも、お前は獣医だろ」

## 今月のジョーク 其の貳

(ジョーク集より)

### 刑務所と会社

刑務所: 三度の食事が無料で出る  
会社: 一食だけで、しかも自費

刑務所: 真面目に働けば早く出られる  
会社: 真面目に働けばさらに仕事が増える

刑務所: 専用トイレがある  
会社: トイレは共用

刑務所: 経費は税金から支払われる  
会社: 給料から税金が引かれる

刑務所: いじわるな見張りがいる  
会社: いじわるな見張りがいる



### ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa  
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

### ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: [info@goaustralia-visa.com](mailto:info@goaustralia-visa.com)

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)  
日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

[www.goaustralia-visa.com](http://www.goaustralia-visa.com)